

## 第 22 回メキシコ日本語教育シンポジウム 一般発表募集

日時:2017年2月24日(金)・25日(土)・26日(日)

場所:メキシコシティ・El Colegio de México

主催:メキシコ日本語教師会

Asociación Mexicana del Idioma Japonés, A. C. (AMIJ)

共催:エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究センター

Centro de Estudios de Asia y África del Colegio de México (CEAA, CM)

助成:国際交流基金

参加費:会員=100ペソ(※別途入会費500ペソ) 非会員=700ペソ

メインテーマ

「インターアクション能力を育てる会話教育—授業デザインと教材を作る—」

2016年度メキシコ日本語教育シンポジウムでは、実践・研究発表、ワークショップの一般募集をしております。使用言語は日本語、もしくはスペイン語です。

### 1) 実践報告・研究発表

- a) メインテーマに関係する日本語教育の実践・研究
- b) メキシコ及び近隣諸国の日本語教育事情・日本語教育実践について
- c) 日本語教育の授業運営に関わる実践・研究
- d) その他、日本語教育全般に関わる実践・研究

発表時間は20分+質疑応答10分です。メール本文に「実践報告」または「研究発表」と入れ、下記項目を明記の上、要旨を添付して、Eメールにてご応募ください。なお、共同研究発表の場合、代表者を筆頭に(代表者)として、続けて共同発表者名を明記してください。

- ① 実践報告か研究発表か
- ② 名前(日本語、及びローマ字)、  
共同発表者の場合、名前(日本語、及びローマ字)(代表者)以下、共同研究者名も
- ③ 所属(日本語、及びローマ字)
- ④ 連絡先(e-mail アドレス)
- ⑤ 題名(使用言語で)

宛先: amij.simposio.2017 [at] gmail.com ([at]は@に置き換えてください)

※Eメールの件名は「abstract\_YOUR\_NAME」(“YOUR\_NAME”には応募者名を記入)としてください。

※要旨の詳細は、後述を参考にしてください。

## 2) ワークショップ

- a) 日本語教育の授業運営に関わるワークショップ
- b) その他、日本語教育一般に関わるワークショップ

メール本文に「ワークショップ」と入れ、下記項目を明記の上、要旨を添付して、メールにてご応募ください。  
なお、共同研究発表の場合、代表者を筆頭に(代表者)として、続けて共同発表者名を明記してください。

- ① 名前(日本語、及びローマ字)
- ② 所属(日本語、及びローマ字)
- 共同発表者の場合、名前(日本語、及びローマ字)(代表者)以下、共同研究者名も
- ③ 連絡先(e-mail アドレス)
- ④ 題名(日本語、またはスペイン語)
- ⑤ 予定時間

宛先: [amij.simposio.2017 \[at\] gmail.com](mailto:amij.simposio.2017@gmail.com) ([at]は@に置き換えてください)

※Eメールの件名は「abstract\_YOUR\_NAME」(“YOUR\_NAME”には応募者名を記入)としてください。

※要旨の詳細は、後述を参考にしてください。

実践・研究発表、ワークショップ、ともに応募締切りはメキシコ時間の2016年12月27日(火)23時59分59秒(※<http://www.greenwichmeantime.com/>参照のこと)です。応募締切りを過ぎての応募は審査の対象にならない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。発表の決定は複数人の査読者により匿名で行われます。要旨中に本人が特定できるような記述は避けてください(名前・参考文献著者名等)。発表決定は、申し込み後できるだけ早く、ただし、2017年1月10日(火)までにはかならずEメールにてお知らせいたします。

ワークショップに関しては、時間の都合などで、実践・研究発表での参加を打診させていただく場合がございます。

また、シンポジウム終了後、シンポジウム発表論集への投稿をお願いいたしますが、審査は別に行うため、必ず掲載される訳ではありませんので、ご了承ください。詳細はシンポジウムの後にご連絡いたします。

### 要旨について

- 1 行目にタイトル(使用言語で)
- 1 行空けて3行目にキーワード(3つ程度・使用言語で)
- 1 行空けて、5行目から本文を書き始めてください。

文字数は日本語1000文字、スペイン語250wordsで、Word等をお使いの際はletterサイズ1枚に収めてください。

フォーマットはdocおよびdocx(Wordファイル)、odt(Openフォーマット)、txt(テキストファイル)を受け付けます。

フォントタイプ:MS明朝12ポイント、Times New Roman 12ポイント

また、要旨には参考文献を添えて、以下のように記してください。

## 記載例

### 1. 単行本〈単著・共著〉の場合

中井陽子(2012)『シリーズ言語学と言語教育 25 インターアクション能力を育てる  
日本語の会話教育』ひつじ書房

尾崎明人・椿由紀子・中井陽子(2010)『日本語教育叢書 つくる 会話教材を作る』スリーエ  
ーネットワーク

Schegloff, E. A. (2007). *Sequence organization in interaction: a prime in conversation analysis*.  
Cambridge: Cambridge University Press.

### 2. 単行本〈分担執筆〉の場合

定延利之(2015)「日本語コミュニケーションにおける偽のタブーと真のタブー」鎌田修・嶋  
田和子・堤良一(編)『談話とプロフィシェンシー その真の姿の探求と教育実践めざして  
(プロフィシェンシーを育てる 3)』凡人社

Martín Zorraquino, M. A. & L. Portolés (1999). Los marcadores del discurso. En I. Bosque & V.  
Demonte (eds.). *Gramática descriptiva de la lengua española*, vol. 3 (pp. 4051-4213). Madrid:  
Espasa.

### 3. 学術論文の場合

中井陽子(2012)「映画視聴と演劇上演を融合させた授業の分析—インターアクション能力育  
成を目指して—」『国際表現言語学会オンラインジャーナル』創刊号, 1-28.

Vázquez C.A. (2015). Análisis de *Oye* como Marcador Secuencial y de acción en la conversación.  
En *Estudios de Lingüística Aplicada*, año 33, número 61, julio de 2015, 73-103.

### 4. インターネット情報の場合

日本語教育執筆要領(和文論文) <http://www.nkg.or.jp/journal/j-yoryou.htm#shiryoku> (2015年10  
月28日)

American Psychological Association. (2015). The Basic of APA style. Consultado en el 29 de octubre  
de 2015 de: <http://www.apastyle.org/learn/tutorials/basics-tutorial.aspx>